

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2019年 3月 1日(金)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年 3月 1日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	消火系ディーゼル駆動消火ポンプ入口弁において、シート部に漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	2月26日
2	2号機	非常用ガス処理系(B)フィルタトレイン内の加熱ヒーターにおいて、ケーブルの断線が認められたため、当該ヒーターを点検・修理。	GⅢ	2月27日
3	2号機	原子炉冷却材浄化系原子炉水排出流量制御器において、動作不良(閉操作するも動作せず)が認められたため、当該流量制御器を点検・修理。	GⅢ	2月27日
4	4号機	非常用ディーゼル発電設備冷却系ポンプ(A)反負荷側軸受デフレクター(油切り)の固定用ネジにおいて、緩みが認められたため、当該箇所を点検・修理。	GⅢ	2月27日
5	その他	港湾内に係留しているバージ船(はしけ)の甲板上に設置されている発電機の周辺において、燃料(軽油)の漏えいが認められたが、公設消防の現場確認により、漏えい事故ではない(漏えいが停止している、臭いがしない、延焼の恐れがない)と判断された。	GⅢ	2月27日